

## 8 今後の課題

### 編・集・後・記

平成16年版はこれまでの三重県環境報告書を見直し、環境報告書を読み手とのコミュニケーションツールとして役立てるために、意匠デザインなどの充実を図りました。また、地球温暖化対策の独自取組である「三重モデル」についても言及しました。

第三者コメントをいただくことで、記載内容に対する解説や評価を受け、今後の改善点を明らかにすることが可能となりました。今後の改善点としては、コメントにもあげられていたように、ISO14001の数値目標の完全達成をめざすことです。

平成12年2月に三重県本庁舎とその周辺機関が、平成13年3月から全ての地域機関で認証を取得し、オフィス活動では毎年の実績からより高い目標を掲げて環境負荷の低減に取り組んでいます。平成15年度に目標を達成できなかった用紙類購入使用量については、今後も削減に向けて取り組んでいきます。

このような取組は、職員インタビューにもあったように、職員一人ひとりの環境意識が非常に重要であり、それを高めるような庁内の仕組みづくりも同時に考えていく必要があります。

みなさまからのご意見は、環境報告書のアンケートやホームページ「三重の環境」、三重県のホームページの「県民の声」などでお聴かせいただき、今後の施策や環境活動に反映していきたいと思えます。



環境森林部  
環境経営室

●主査  
**扇本 みどり**